



青指だより

第92号

令和5年度活動記録

発行 旭区青少年指導員連絡協議会
編集 広報部会
事務局 旭区役所地域振興課
TEL:045-954-6099



旭区マスコットキャラクター あさひくん

救急法実技講習会

6月4日(日)、救急法実技講習会が旭区役所地下3号会議室にて開催されました。当日は各地区より、新任及び再任を含めて27名の青少年指導員が参加しました。講習会の前半では、モニターで映像を観ながら、救命の連鎖「心停止の予防」「早期認識と通報」「一次救命処置(心肺蘇生とAED)」「二次救命処置」の大切さを学びました。後半は旭消防署員の指導により、人形(レサシアン)

と訓練用AEDを使い、心肺蘇生法とAED取扱いの実技を行いました。最初は皆さん、人形への声掛けや周囲の人に助けを求めるときに、恥ずかしさや戸惑いがありましたが、交替しながら実施していくうちに、「絶対助けるんだ」という思いを込め、熱心に実技を体験し、大変有意義な講習会となりました。この講習会で体験したことは、各地区や家庭に戻った後も、周りの方々に「救命の連鎖」の重要性を繰り返し伝えることが大切だと思いました。



6月4日(日) 旭公会堂にて <旭区青少年指導員研修会> が行われました。

永年勤続者顕彰式

旭区の青少年指導員として5年の永年勤続者に、感謝状の授与式が執り行われました。

青少年の育成に努めてこられた21名の永年勤続者に、旭区青少年指導員連絡協議会の濱本会長、権藤旭区長より感謝状が授与されました。そのあと濱本会長・権藤旭区長よりそれぞれ挨拶がありました。「自分が困っているときには人を信じて打ち明けられる、周囲の人を支え、時には支えられる、そのようなつながりを育てていけることを、区としても全力で取り組んでいきたい。これからも青少年指導員に力になってもらいたい。」という熱いメッセージが区長からありました。



講演会「LGBTQ+への理解をひろげよう」

特定非営利活動法人SHIP 星野慎二氏をお招きして、講演いただきました。星野氏は人とのつながりから、自分らしく生きられる社会づくりを理念とされ、ネットワークづくりやコミュニティ支援、健康支援など、20年以上にわたり、様々な活動をされています。

近年、メディアやインターネットでLGBTQ+に関する話題が増え、国会でも法案が成立するなど、関心が高まってきて、一般社会の理解も求められています。その一方で正しい情報を得る場所が少ないために、子どもたちがインターネットでいろいろなトラブルに巻き込まれている現状もあるそうです。

講演では、LGBTQ+って何?というところから、どのくらいの割合でいるのか。その方々の苦悩など、現状をお話しいただきました。

人には、それぞれもって生まれた能力やその人らしさがあります。一番大切なことは、性別・ジェンダー・セクシュアリティに関係なく、過ごしやすい環境づくり、その人らしさや能力を発揮できる環境づくりが大切なんだと教えられた有意義な時間でした。



子ども写生大会

6月24日(土)、梅雨の時期にもかかわらず、好天に恵まれ旭区子ども写生大会をズーラシアで開催することができました。今年は108名の子どもたちが集まり、このイベントを楽しみに、受付開始前から来ていた子や去年も参加してくれた子もいました。

受付をすませ、画材や画版を受け取ると、子どもたちはうれしそうに動物たちのほうに向かっていきました。園内は広く、ゾウやライオン、キリンやシロクマなどのほかに、オカビなど珍しい動物もたくさんいて、どの動物を描こうかと迷ってしまいます。動物の近くでじっくり観察しながら描いたり、ベンチやテーブルの上で友達や家族とわいわい言いながら描いたり、みんな、思い思いの方法で大会を楽しんでいました。



ゴールポイントでは出来上がった絵をスキャンします。誇らしげに渡してくれる子や恥ずかしそうにしている子などさまざまでしたが、大作力作が揃いました。ペンギン・レッサーパンダなどのかわいい動物のほかに、ズーラシアの代名詞、オカビも人気でした。参加賞を受け取り、みんな笑顔で大会を終えることができました。

スキャンした絵は区役所に展示されたほか、区役所ホームページにも掲載されています。子どもたちの作品をぜひご覧ください。



これからの主な行事予定

- 旭ふれあい区民まつり 10月15日(日) 旭区役所周辺
- 旭区親子野外自然体験活動 11月4日(土) 11月25日(土) こども自然公園 青少年野外活動センター
- 旭区学校音楽祭 12月16日(土) 旭公会堂
- 旭区大なわとび大会 2月3日(土) 旭スポーツセンター

令和5年度が始まりました。長かったコロナ禍での日々がようやく収束を迎えつつあります。青少年指導員も各部、自粛していたイベント等再開の予定が進み区民の皆様と活動できることを楽しみにしています。ぜひ参加してみてください。これからも地域活動やたくさんの子もたちとの交流をご報告していきたいと思ひます。本年度もよろしくお願ひします。

編集 後記

地区だより

上白根地区

トリックアート教室



上白根地区では、5月28日(日)にひかりが丘地域ケアプラザ内において初のトリックアート工作の教室を開催いたしました。

当日は、ケアプラザのスタッフと青指が協力して作業を進めることにしました。厚紙にトリックアートの用紙を貼り付け、のりしろを避けて切り抜き、箱型に組み立てます。次にのぞき窓と明かり取り窓を開けて、最後に箱の外側に自分好みの色々なデコレーションシールを貼り付け、また色塗りなどをして出来上がりとなりました。のぞき窓から見ると高層ビルが下の道路から立ち上がり、ビルとビルの立体感に子どもたちはビックリしていました。

今後もトリックアート教室を続ける様にと考えています。



希望が丘地区

第41回 希望が丘地区環境美化活動

5月21日(日)

希望が丘地区では地域・学校・各種団体の交流を目的として、毎年2回環境美化活動を実施しております。

今年度最初の事業として12地区の自治会や各種団体、希望ヶ丘小学校・南希望が丘中学校のボランティアと一緒に区内11ヶ所の公園と隣接する道路のゴミ拾いを行いました。

希望が丘地区の住民は普段からゴミの集積・分別の意識が高く、ゴミのポイ捨てや不法投棄は殆どありませんが、美化活動を通して地域の子もたちとのふれあいの場として取り組んでおります。

当日は天候にも恵まれ大勢の参加を得て1時間足らずで各公園がきれいになりました。参加した高齢者の方々は「孫と話をしているようで、とても楽しい」と言い、満面の笑みで子どもたちと接していました。

今後も環境美化活動を通して、地域の人たちと子どもたちがもっと触れ合える環境づくりに青少年指導員として精進して行く所存です。



万騎が原地区

まもなく100回！あさひ漢字塾

万騎が原地区では、漢字を楽しく学習する漢字塾を2つ開催しています。どなたでも参加できる内容で、参加費は300円/回です。

「あさひ漢字塾」は、万騎が原小学校の教室を会場として、毎月第2日曜日に開催しています。今年の10月で第100回を迎えます。昨年度は、「名曲の歌詞」と「今日の部首」の二本立てを基本としたテーマでした。コロナ禍により小学生クラスは休止し、一般クラスはZoomを併用して開催しました。今年度は、「横浜18区」をテーマに各区の名所や名店などと一緒に漢字を学ぶシリーズを開始しました。今年度は夏ごろから小学生クラスを再開予定です。

2021年4月からは、万騎が原地域ケアプラザを会場として、毎月第4土曜日に「みんなの漢字塾」を始めました。こちらは、年間を通じたテーマを設定せず、漢字教育サポーターの仲間が交代で講師を務めています。篆書の消しゴムはんこ作り、動物の名前クイズ、野菜の名前クイズ、戦後の漢字政策など、楽しみながら漢字について広く深く学べる内容です。

2つの漢字塾は、漢字教育士の資格を持った講師5名(有賀、大西、北島、四方、日置)が企画運営しており、日本漢字能力検定協会の「漢字まなび活動助成制度」の助成対象に認定されています。



旭南部地区

モルック練習会活動報告

気温
29℃

台風の影響と梅雨前線で、ずっと週末が雨に降られていたスキをつけて6月18日(日)にモルック練習会を開催しました。

南本宿公園 9:30 スタート、総勢48名の参加となりました。

地区連合のお母さんたちの協力でお茶やジュースを飲みながら、4年ぶりの暑い太陽の下(29℃)でも無事故で楽しい開催となりました。

コロナ禍で外で遊べなかった分、大きな笑い声ははじけていい活動になりました。

モルック(投げる棒)を投げて、スキットル(ピン)を倒そう!



何点取れるかな?

